The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	阪大法学 第六十七巻　総目次　（一～六号）
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2018, 67(6)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/87066
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

阪大法学　第六七巻　総目次　（一～六号）

論　説

		号	頁	通頁
実証政治分析におけるポピュリズムと合理的選択制度論 ——「大阪都構想」をめぐる政治　2010-15年——	北村　亘	一	一	一
中国における犯罪と治安管理違反の区別をめぐる議論に関する一考察 ——「質」の違いとは何か？——	坂口　一成	一	三九	三九
ドイツ不当条項規制効果論における補充的契約解釈に関する裁判例の展開（一）	武田　直大	一	六五	六五
詐欺罪における契約上の規律について	品田　智史	一	一一五	一一五
ハーバーマス討議理論における実践的判断力の問題とその批判的検討（一）	宮田　賢人	一	一四五	一四五
ドイツにおける行政訴訟の類型の歴史的展開（三）	長谷川佳彦	二	一	二三三
ドイツ不当条項規制効果論における補充的契約解釈に関する裁判例の展開（二）	武田　直大	二	四五	二七七
ハーバーマス討議理論における実践的判断力の問題とその批判的検討（二・完）	宮田　賢人	二	九七	三二九
破産管財人の善管注意義務違反と不当利得 ——最高裁平成一八年一二月二一日二判決の枠組の再検討——	平田　健治	三・四	七	四三一

アメリカ債権回収法における執行力の研究序説
——コモンローのDormant法理を手がかりに——……藤本　利一　三・四　一五　四三九
「第三者委員会」についての法社会学的考察
——ソフトローをエンフォースする事実的な力をめぐって——……福井　康太　三・四　六三　四八七
紛争過程における断行の仮処分……仁木　恒夫　三・四　八七　五一一
働き方改革と労働時間規制……水島　郁子　三・四　一〇五　五二九
使用者の意見表明と支配介入
——アメリカ労使関係法との比較——……地神　亮佑　三・四　一三一　五五五
遺産確認の訴えに関する覚書き……大江　毅　三・四　一五七　五八一
ギグエコノミーにおける働き方と労働者性
——米国を例として——……オカケイコ　三・四　一八一　六〇六
台湾労働基準法の近時の改正に関する一考察……周　兆昱　三・四　二〇三　六二七
台湾における「一例一休」制度について
——二〇一六年改正労働基準法の課題——……廖　修雅　三・四　二二七　六五一
中国における労働契約解除時の経済補償金制度……荀　夢　三・四　二五三　六七七
労働者の自殺をめぐる労災認定に関する問題点……井寄　奈美　三・四　二七七　七〇一
「占有」がもたらす外観に対する信頼保護
——占有意思の変更と即時取得——……平田　健治　五　一　七八一
「安倍一強」の制度分析（一）……上川龍之進　五　一七　七九七
未承認反乱団体が海上で行う暴力行為と
海賊行為との関係（一）
——海賊行為の「私的目的」要件をめぐる歴史的展開——……和仁健太郎　五　四七　八二七
ドイツ不当条項規制効果論における
補充的契約解釈に関する裁判例の展開（三・完）……武田　直大　五　七七　八五七

政府の意思形成過程に対する議会統制の可能性（一）
——ドイツ公法学における「核心領域」を前提とする執行権概念の相対化——……磯村　晃　五　一一三　八九三
議会審議非公開の憲法原理的省察（一）
——ドイツ連邦議会の委員会審議を例として——……前硲　大志　五　一三九　九一九
議院内閣制における中央官庁
——二〇〇〇年代後半以降における研究動向の検討——……小林　悠太　五　一六五　九四五
ライナー・フォルストの正義論の批判的検討
——ハーバーマス以後の討議理論の進展とその成否——……宮田　賢人　五　一九三　九七三
大都市における「政治的独占」の形成と展開
——大阪市の職員労働組合に着目して——……芦谷　圭祐　五　二二三　一〇〇三
体制転換後の地方自治制度の設計
——チェコとスロヴァキアの比較分析——……須川　忠輝　五　二五三　一〇三三
ヴィッテ蔵相期ロシアのジャーナリズムと中国問題
——『ノーヴォエ・ヴレーミャ』と『ヨーロッパ通報』の論調を中心として——……竹中　浩　六　一　一〇六五
強制処分概念をめぐる最近の議論について……松田　岳士　六　三三　一〇九七
「安倍一強」の制度分析（一・完）……上川龍之進　六　六三　一一二七
未承認反乱団体が海上で行う暴力行為と海賊行為との関係（二）
——海賊行為の「私的目的」要件をめぐる歴史的展開——……和仁健太郎　六　九三　一一五七
立法の拡張形式についての考察
——「参照」を素材として——……宮村　教平　六　一三九　一二〇三

政府の意思形成過程に対する議会統制の可能性（二・完）
——ドイツ公法学における「核心領域」を前提とする執行権概念の相対化——……磯村　晃　六　一六七　一二三一
議会審議非公開の憲法原理的省察（二・完）
——ドイツ連邦議会の委員会審議を例として——……前硲　大志　六　二〇一　一二六五
司法ソーシャルワークにおける支援対象者の自律性（一）……吉田　直起　六　二二一　一二八五
ラントに対する連邦の指示権
——法律実施過程における中央-地方関係の憲法学的考察——……笛木　淳　六　二五一　一三一五

特別寄稿

二〇一七年NPT準備委員会と核軍縮……黒澤　満　二　一三三　三六五

研究ノート

ソフトロー
——民事法のパースペクティブ（一）——……清水真希子　六　二七七　一三四一

資　料

事業再生に対する裁判所の機能強化と専門性の獲得
——あるべき倒産処理プレイヤーとして——……藤本　利一　一　一七一　一七一
韓国における倒産法改正と実務の現況
——倒産事件専門法院の導入と電子的処理などを中心に——……盧　泰嶽／李　英訳／藤本利一監修　一　一七六　一七六

イタリア「司法協力者」制度に関する
主要法令（一）……松田　岳士　一　一九九　一九九
イタリア「司法協力者」制度に関する
主要法令（二・完）……松田　岳士　二　一六三　三九三

その他

巻頭の辞……林　智良　三・四　一　四二五
池田辰夫教授略歴・主要著作目録……下村　眞美　三・四　三〇一　七二五
小嶌典明教授略歴・主要著作目録……三・四　三二四　七四八